

# 国士舘大学大学院入学試験問題用紙

博士課程

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
政治学研究科	政治学専攻	日本語	語学辞書 可

## 【問題 I】 令和 8 年度 III 期・博士課程日本語

次の日本語を読んで、以下の設問に答えなさい。なお、解答は指定用紙に記入しなさい。

著作権の関係上、具体的な文章は過去問題上公開いたしません。  
次の出典ページを参考にしてください。

(出典:小野紀明・川崎修(編集代表)『政治哲学5 理性の両義性』岩波書店、55頁～57頁、一部改変)

# 国士舘大学大学院入学試験問題用紙

博士課程

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
政治学研究科	政治学専攻	日本語	語学辞書 可

## 【問題 I】 令和 8 年度Ⅲ期・博士課程日本語

問題・解答用紙 受験番号( ) 氏名( )

(問1)下線部(A)が意味するところを 100 字程度の日本語で説明しなさい。

(問2)下線部(B)が意味するところを 200 字程度の日本語で説明しなさい。

(問3)下線部(C)が意味するところを 200 字程度の日本語で説明しなさい。

(問4)本文全体が意味するところについて 300 字程度の日本語で論述しなさい。

# 令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

## 出題の意図と採点のポイント

研究科名	政治学研究科 政治学専攻
試験期別	Ⅲ期
試験区分	一般選考
試験科目名	日本語(博士課程)

### ■出題の意図

本問の出題意図は、与えられたテーマに対して自らの視点で深く考察し、論理的に考える能力を問うことにあります。現代社会における複雑な課題は、単一の正解が存在しないことが多く、対立する意見や多面的な背景を理解した上で、客観的な根拠に基づいた解決策を構想する力が求められます。よってここでは、研究において不可欠な批判的思考力と自らの考えを正確に伝える能力がどの程度備わっているかを確認することを目的に出題します。

### ■採点のポイント

現代社会システムの課題に関する日本語の設問への解答を求めることを通じて、論理展開に矛盾がなく一貫性が保たれているか、裏付けとなる根拠が客観的な事実や具体的な例示に基づいているか、主観的な感想に終始せず多角的な視点が考慮されているか、文章構成と表現の正確さが維持されているか、独自の視点に基づいた考察が含まれているかを採点のポイントとして総合的に評価します。